

3. PDM ver.1

プロジェクトデザインマトリックス(PDM)
 プロジェクト名:カンボジア国結核対策プロジェクト(フェーズ2)
 実施機関:OENAT
 対象者:結核患者

プロジェクト期間:2004年8月1日～2009年7月31日
 修正案作成日:2006年9月11日

作成日:2004年4月30日

対象地域:カンボジア国全域(一部はバイロット地域のみ)

プロジェクトの要約 上位目標		指標	指標入手手段	外部条件
結核の死亡数、患者数が減少する		1 2012年までに、塗抹陽性結核の罹患率が、1997年の10万対241から120に減少する 2 2012年までに、塗抹陽性結核の有病率が、1997年の10万対540から270に減少する 3 2012年までに、結核患者の死亡率が、1997年の10万対90から45に減少する	WHO レポート WHOレポート、及び全国結核有病率調査(2002, 2007, 2012年)	* あらゆるレベルの政府機関が結核対策計画の支持を継続する * 一般人口の貧困水準が現状より悪化しない
プロジェクト目標 質が高く維持可能な結核プログラムが全国で実施される		1 プロジェクト期間を通して、新塗抹陽性結核患者の治療率85%が維持される 2 プロジェクト終了時までに、新塗抹陽性結核患者の発見率70%が達成される 3 プロジェクト終了時までに、塗抹陰性肺結核の報告数が2003年の2倍に増加する 4 プロジェクト終了時までに、小児結核の報告数が2003年の2倍に増加する	保健省の統計 (同上) (同上) (同上)	* 結核対策計画への政府の強いコミットメントが継続する * HIV/AIDSが結核治療率に及ぼす影響が現状より悪化しない * HIV/AIDSの感染拡大が悪化しない
アウトプット 1 NTPの運営管理能力が改善される	プログラム管理	1-1 プロジェクト終了時までに、中央・地方のNTPスタッフが客観的データに基づいた計画立案ができる 1-2 プロジェクト終了時までに、NTPスタッフがより少ない支援で調査を実施し、結果を分析することができる 1-3 2007年までに、「結核年次統計」が定期的に発行される	専門家、またはOENATスタッフによる報告書 専門家による報告書 結核年次統計	* 結核対策計画への政府の強いコミットメントが継続する * 中央におけるNTP職員の離職率が著しく悪化しない * NTP職員のモチベーションが維持される * NTPにおけるドナー協調が維持される
	情報管理	1-4 プロジェクト期間を通して、統計データが適切な時期に、適切な方法で収集される 1-5 プロジェクト終了時までに、特定の地域でNTP活動がコンピューターを使って評価・分析される	OENATの資料 専門家、またはOENATスタッフによる報告書	
	薬剤管理等ロジ	1-6 2005年までに年間の薬剤必要量が正しく把握され、MOHにリクエストされる。 1-7 さらに、2007年までに、GDF標準に基づいた薬剤調達ができる	OENATの資料、またはHCMSのデータ OENATの資料、またはHCMSのデータ	
		1-8 2006年までに、四半期ごとの薬剤必要量が、実際の結核患者数と在庫量に基づいて医務長からリクエストされる	OENATの資料	
		1-9 フィールド調査の実施、結果分析、対策ワークショップを開催する	(同上)	
	調査研究	1-10 TB/HIV全国実態調査、全国薬剤感受性調査、薬剤モニタリング調査、全国有病率調査、KAP調査が実施される	(同上)	
		1-11 調査結果の反映のためのワークショップが実施される	(同上)	
	協調・調整	1-12 プロジェクトの成果や調査結果が、毎年、国際会議で発表される	会議抄録集	
		1-13 四半期ごとにICCが適切に実施される	OENATの資料	

活動		投入	
NTPの運営管理能力が改善される		カンボジア側	日本側
1-1 プログラム管理に関する活動		長期専門家に対するカウンタートパー	長期専門家 チャーフアドバイザー 業務調整 TB/HIV対策
1-1-1 計画、モニタリング及び評価に関するトレーニングを行う			
1-1-2 調査その他の技術分野に関するトレーニングを実施する		試薬、消耗品、結核薬等	
1-2 情報管理に関する活動		CENATスタッフの人的費 管理、運営費	
1-2-1 全国のサーベイランスデータの分析、評価を行う			
1-2-2 中央レベルにおいて結核情報に関する適切なデータベースの構築を行う			
1-2-3 特定の州においてコンピュータを利用した結核情報システムを運用する			
1-2-4 州、医療圏郡レベルにおいて疫学に関するトレーニングを実施する			
1-3 薬剤管理ロジに関する活動			
1-3-1 薬剤状況調査、及びアウェアネスにて開発された薬剤管理計画に従った活動を展開する			短期専門家 疫学 結核対策 結核ラボ管理 HIV検査 X線検査 X線診断 薬剤管理 機材供与 モーターバイク
1-3-4 調査研究に関連する活動			
1-4-1 全国的な結核実態調査、薬剤耐性、結核患者におけるHIV実態調査を実施する			
1-4-2 特定の地域においてTBIに関するKAPサーベイを実施する			
1-4-3 NTPを改善するために、調査研究の結果を有効利用する			
1-5 協調・調整に関する活動			
1-5-1 国内外のドナーとの定期的なミーティングを促進する			
1-5-2 国際的なカンファレンス、会議を通して意見の交換と経験の共有を行う			
2 維持可能で質の高いDOTSサービスが全国に広がる			
2-1 DOTSの質の向上に関する活動			顕微鏡 X線関連機材 OA機器 塗抹標本作製キット
2-1-1 すべてのレベルにおけるDOTSのモニタリングと巡回指導の見直しを行う			
2-1-2 巡回指導に関するガイドラインを見直す			
2-1-3 州及び医療圏郡結核担当官に対する再研修を実施する			
2-2 6ヶ月短期化学療法に関する活動			CP研修 結核ラボ管理 国家結核対策
2-2-1 6ヶ月短期化学療法に関する適切なガイドラインを策定する			
2-2-2 他機関と連携しながら、6ヶ月療法に関するワークショップ、トレーニングを実施する			
2-2-3 6ヶ月短期化学療法実施に関するモニタリング、巡回指導を行う			
2-3 コミュニティDOTSに関する活動			
2-3-1 特定の地域にコミュニティDOTSを導入する			
2-4 PPM(官民連携)に関する活動			
2-4-1 民間セクターにおける結核サービスに関する調査を行う			
2-4-2 特定の地域でPPM-DOTSを導入する			
3 既存のDDOTSを超えた適切な結核サービスとそのガイドラインが構築される			
3-1 TB/HIV対策、小児結核、塗抹陰性結核などの特殊分野に関する適切なガイドラインを作成する			
3-2 州都府庁アフラール病院に従事する結核専門医を強化するためのトレーニング用モジュールを開発する			
3-3 Beyond DOTS(TB/HIV、小児結核および塗抹陰性結核など)に対するトレーニングを実施する			
3-4 CENATにおける薬剤耐性結核の治療を支援する			
4 DOTS、TB/HIV対策、調査活動に必要な検査の質が改善される			
4-1 細菌学的検査における包括的精度管理についてのガイドラインを作成する			
4-2 末端の結核ラボにおける包括的精度管理を実施するためのトレーニングを実施する			
4-3 多剤耐性結核のモニタリングに関する培養検査ネットワークを支援する			
4-4 TB/HIV対策などに対する検査サービスの強化と拡大のためにCENATラボスタッフに対するトレーニングを実施する			
5 結核対策計画を支えるための効果的なIEC/Advocacy活動が実施される			
5-1 ヘルスセンタースタッフ、およびヘルスセンター支援グループトレーニング用モジュールを			
5-2 ヘルスセンタースタッフ、およびヘルスセンター支援グループへのトレーニングを実施する			
5-3 教育省、労働省などの関係機関との定期的なワーキングセッションや会議を計画する			
5-4 他のドナーと協力しIEC/Advocacy職階計画策定を支援・促進する			

前提条件

* フェーズIプロジェクト終了時評価報告書にて指摘された活動が完了する

4. 評価グリッド (和・英)

カンボジア国 結核対策プロジェクト（フェーズ2）終了時評価調査 評価グリッド

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
実績の検証	投入は計画どおりか	日本側投入	投入実績データ	- プロジェクト作成資料、プロジェクト事業進捗報告書、その他の報告書 - 同上	文献調査	計画通り
	アウトプットは計画どおり産出されたか	カンボジア側投入 アウトプットの指標は達成されたか	- 同上 - アウトプット指標達成度 - 関係者の意見	- Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	アウトプット 2-2, 2-7, 2-9, 3-4, 3-5, 4-3, 5-2, 5-3 は未達成
		アウトプットの「質」は満足なレベルに達しているか	関係者の意見	保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 評価ワークショップ - インタビュー	PDM の指標に「質」の要素が含まれていないため、質に関しては評価ワークショップで意見を聞いたが、質に関する問題意識は提起されなかった。
		アウトプット達成における本プロジェクトの貢献度はどの程度か	- 関係者の意見 - 他ドナーの意見	- 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 評価ワークショップ - インタビュー	特にパイロット事業の導入において貢献度が高い。
	プロジェクト目標は達成されたか	プロジェクト目標の指標は達成されたか	- プロジェクト目標指標達成度 - 関係者の意見	- Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	プロジェクト目標指標 3（塗沫陰性の報告数）は未達成だが、目標値の根拠が曖昧。TB/HIV、小児結核の発見数は増加している。
	上位目標は達成される見込みか	上位目標は達成される見込みか	- 上位目標指標達成度 - 関係者の意見	- カンボジア保健省資料、WHO 資料 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	WHO のグローバルターゲットは達成しており、将来的に上位目標が達成される基盤は整った。

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
実施プロセスの検証	活動は計画通りに実施されたか	進捗に問題はないか。ある場合、それは何で、その原因は何か	・当初スケジュールと実際の進捗状況の比較データ	・プロジェクト事業進捗報告書、プロジェクト作成資料、その他の報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	JICA 直営型から業務委託型に契約が移行した際に、事務的混乱から多少活動が遅れた。
	技術移転の方法に問題はなかったか	問題がある場合、どのような技術移転方法に問題があったか。その解決方法は何か	・技術移転の遅れの有無、C/P の理解、習得度 ・関係者の意見 ・他ドナーの意見	・プロジェクト活動進捗報告書、プロジェクト作成資料、その他の報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	特に問題はない。
	プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか	モニタリングの仕組みが構築されているか	・モニタリングの方法、頻度	・モニタリング・システム ・プロジェクト活動進捗報告書、プロジェクト作成資料、その他の報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	PO が作成され、活動の進捗および達成度がモニターされている。
		プロジェクト内のコミュニケーションは、円滑に行われているか	・コミュニケーションの機会の設定 ・問題解決状況 ・関係者の意見	・定例会議議事録 ・モニタリング・システム ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	CENAT/JICA Project Meeting が毎月開催されている。
		JICA 本部、JICA カンボジア事務所との連絡・協力は円滑だったか	・連絡・協力状況	・定例会議議事録 ・モニタリング・システム ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	特に問題はない。
		カンボジア側との連絡・協力は円滑だったか	・連絡・協力状況	・定例会議議事録 ・モニタリング・システム ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	TB Annual Conference, ICC, JCC など、緊密なコミュニケーション管理が行なわれている。

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
実施プロセスの検証（つづき）	実施機関やカウンタートへのプロジェクに対する認識は高いか	カンボジア保健省は高いオーナーシップをもって取り組んでいるか	- プロジェクト予算 - 連絡・協力状況 - 関係者の意見 - 他ドナーの意見	- 保険省からプロジェクトへの予算 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	予算は毎年増加している。NTP とプロジェクトがほぼ一体化しているため、CENAT のプロジェクトに対するオーナーシップは高い。
	適切なカウンタートが配置されたか	カウンタートパートの人数、能力、立場は適切だったか	- カウンタートパートリスト - 関係者の意見	- プロジェクト作成資料、プロジェクト事業進捗報告書、その他の報告書 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	フェーズ1 を通じて能力強化されており、適切だった。
	関係機関のプロジェクへの参加度やプロジェクに対する認識は高いか	保健省等の関係者の参加度や認識は高いか	関係者の意見	- プロジェクト作成資料、プロジェクト事業進捗報告書、その他の報告書 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	高い。
	プロジェクトの実施過程で生じている問題や、効果発現に影響を与えた要因は何か	プロジェクトの阻害要因、促進要因は何か	- プロジェクトの活動記録 - 関係者の意見	- プロジェクト作成資料、プロジェクト事業進捗報告書、その他の報告書 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	促進要因：無償との連携。広範で長期的な支援アプローチ。自立発展性を見越した関係者の巻き込み（CATA 等）
	他プロジェクトとの協力・連携は適切だったか	NTP 関連プロジェクトとの協力・協調は効果的に行なわれたか	- 協力・連携状況 - プロジェクトの活動記録 - 関係者の意見	- プロジェクト作成資料、プロジェクト事業進捗報告書、その他の報告書 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	多くのドナー、NGO 等と連携しており、プロジェクトがその中心的な調整役を果たしている。

5 項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
妥当性	本プロジェクトが目指す効果は、カンボジアの国家政策に合致しているか	国家開発計画における結核対策の位置づけ	・カンボジアの保健政策	・CMDGs ・National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	・プロジェクトは National Health Policies and Strategies for TB Control 2006-2010 と目標および戦略を共有している。
			・保健省予算における結核対策予算の割合	・保健省予算書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	・毎年増加している。
		国別事業実施計画等との関連性はあるか	・我が国のカンボジア国の結核対策に対する支援方針	・JICA 国別事業実施計画 ・JICA 課題別指針「結核対策」2007 年 4 月 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	・JICA 国別事業実施計画ではカンボジア支援において結核対策を優先課題としている。
	ターゲットグループのニーズに合致しているか	カンボジア国民は結核対策を必要としているか	・発生率、有病率等、結核関連情報 ・関係者の意見	・National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	・カンボジアは依然として TB22 高負担国のひとつである。(21 位)
		DOTS と Beyond DOTS の関係など、プロジェクトのアップローチは適切だったか	・関係者の意見	・National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・文献調査 ・インタビュー	・非常に適切。
		日本の結核対策の経験は有効に活かされているか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・インタビュー	・非常に活かされている。
	日本の技術の優位性はあるか	フェーズ 1 の経験は有効に活かされているか	・関係者の意見	・フェーズ 1 終了時評価報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー	・非常に活かされている。
		円借、無償等、技術プロジェクトの他のプロジェクトとの連携は適切か	・協力・連携の状況・実績、効果 ・関係者の意見	・JICA 関係者 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・インタビュー	・国立結核センター施設改修（1999 年）、抗結核薬調達（2003-2005）等の無償あり。

5 項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
有効性	プロジェクト目標は本プロジェクトの貢献によって達成されたか	プロジェクト目標の指標は達成されたか	- プロジェクト目標指標達成度 - 関係者の意見	- Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	プロジェクト目標指標 3（塗沫陰性の報告数）は未達成だが、目標値の根拠が曖昧。TB/HIV、小児結核の発見数は増加している。
		プロジェクト目標指標の達成は本プロジェクトのアウトプット達成によるものか	- プロジェクト目標指標達成度 - アウトプット指標達成度 - 関係者の意見	- Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	プロジェクト目標とアウトプットの関係は緊密。
		アウトプットによってプロジェクト目標が達成されるという論理は適切だったか	- PDM - 関係者の意見	- Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	同上。
	プロジェクト目標達成を促進あるいは阻害した要因は何か	中央における NTP 職員の移動・離職による影響はあったか	- 離職率、離職理由、C/P の人数 - 関係者の意見	- プロジェクトの記録 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー	移動、離職は少ない。
		NTP におけるドナー協調は適切だったか	関係者の意見	- 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- インタビュー - 評価ワークショップ	適切。ドナー調整の中心的な役割を本プロジェクトが担っていた。
		その他の外部条件、外部要因の影響（正、負）はあるか	関係者の意見	- プロジェクト事業進捗報告書 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー - 評価ワークショップ	財務省からの予算の不執行による薬剤、試薬の欠品。

5 項目	評価設定		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
効率性	達成されたアウトプットからみて、投入の質・量・タイミングは適切か	専門家派遣人数、専門分野・能力、派遣時期・期間は適切か	- 派遣実績 - 関係者の意見	- プロジェクト資料 - 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- 文献調査 - インタビュー	適切
		供与機材の種類、量、設置時期は適切か	- 機材供与実績、利用状況 - 関係者の意見	同上	- 文献調査 - インタビュー	適切
		研修員受け入れ人数、研修内容、研修期間、受け入れ時期は適切か	- 研修員受け入れ実績 - 関係者の意見	同上	- 文献調査 - インタビュー	適切
		カウンターパートの人数、配置時期、能力は適切か	- C/P 配置状況 - 関係者の意見	同上	- 文献調査 - インタビュー	適切
		建物・施設の質、規模、利便性は適切か	- 建物、施設の現状 - 関係者の意見	同上	- 文献調査 - 直接観察 - インタビュー	適切
	プロジェクトの予算は適正規模か	類似プロジェクトと比較して妥当なコストか	- コスト実績 - 関係者の意見	同上	- 文献調査 - インタビュー	??
		他プロジェクト・他ドナーとの連携は、効率面においてどのような効果があったか、また、連携における課題・問題点はあるか	関係者の意見	- 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- インタビュー - 評価ワークショップ	他ドナーと連携は緊密。ドナー調整の中心的な役割を本プロジェクトが担っていた。
		地方分権化は効率性にどのような影響を及ぼしたか。今後の課題はなにか。どのような取り組みが必要か	関係者の意見	- 保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 - WHO、USAID 等他ドナー、NGO	- インタビュー - 評価ワークショップ	州の位置づけが弱くなっている。
		定例会議、JCC 等、プロジェクト運営管理体制はプロジェクトの効率的反響に貢献したか	関係者の意見	保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	- インタビュー - 評価ワークショップ	ICC、JCC、CENAT/JICA Project Meeting など、階層化された緊密な会議体が構成されている。

5 項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
インパクト	上位目標は達成される見込みか	上位目標は達成される見込みか	・上位目標指標達成度 ・関係者の意見	・カンボジア保健省資料、WHO 資料 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	・WHO のグローバルターゲットは達成しており、将来的に上位目標が達成される基盤は整った。
		上位目標の達成を阻害する要因はあるか	・HIV/AIDS が結核治療率に及ぼす影響 ・HIV/AIDS の感染拡大 ・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・インタビュー ・評価ワークショップ	- プロジェクト目標が達成される - と上位目標が達成されない指標 - になっている (?)
	上位目標の達成は本プロジェクトの貢献によるものか その他の波及効果はあるか	上位目標とプロジェクト目標の論理的関係は適切か	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・インタビュー ・評価ワークショップ	- プロジェクト目標が達成される - と上位目標が達成されない指標 - になっている (?)
		官民連携 PPM・DOTS は、官、民の双方にどのような影響を及ぼしたか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・インタビュー ・評価ワークショップ	NA
		コミュニティ DOTS はコミュニティにどのような影響を及ぼしたか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・インタビュー ・評価ワークショップ	NA
		TB/HIV 対策は国家エイズプログラムにどのような影響を及ぼしたか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・インタビュー ・評価ワークショップ	NA
		NGO との協調は NGO にどのような影響を及ぼしたか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・インタビュー ・評価ワークショップ	NA
		その他の影響（正負）はあるか	・関係者の意見	・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家 ・WHO、USAID 等他ドナー、NGO	・インタビュー ・評価ワークショップ	負のインパクトは見られない。

5 項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法	調査結果
	大項目	小項目				
自立発展性	政策面での支援は継続するか	保健省による政策面での支援は継続するか	・関係者の意見	・保健省関係者	・インタビュー ・評価ワークショップ	政策は結核対策を重視している。プロジェクトの指標は国家政策の指標と同じ。
	事業を継続するだけの能力が組織に備わっているか	協力終了後も効果を上げていくための活動を実施するに足る運営管理能力が、保健省、ラボ等にあるか	・スタッフの配置、定着状況 ・スタッフの運営管理能力 ・関係者の意見	・プロジェクト事業進捗報告書 ・スタッフ配置状況 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	CENAT だけで研修その他の事業をすでにこなしている。
		協力終了後も効果を上げていくための活動を実施するに足る技術力が、保健省、ラボ等にあるか	・スタッフの技術力 ・関係者の意見	・プロジェクト事業進捗報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	同上。
		経常経費を含む予算の確保は行われているか？	・予算 ・関係者の意見	・予算計画書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	WB の支援が終了するなか、GFR8 の取得に失敗するなど、財政面に不安が残る。
	移転された技術は定着しているか	C/P は結核対策に係る活動を実施するに必要な能力を有しているか	・関係者の意見	・プロジェクト事業進捗報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	レントゲン検査、調査デザイン能力、データ分析能力などはさらなる向上が必要。
		機材の維持管理は適切に行われる見通しがあるか	・関係者の意見	・プロジェクト事業進捗報告書 ・保健省、保健省地方管区等関係者、C/P、専門家	・文献調査 ・インタビュー ・評価ワークショップ	適切。

Evaluation Grid: Terminal Evaluation of the CENAT/JICA National Tuberculosis Control Project Phase II

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Verification of the results	Inputs (human, physical, financial) were provided as planned?	Inputs from Japanese side	• Inputs list	• Project documents, Project Progress Reports, other related documents	• Literature Survey	
	Outputs are realized as planned?	Inputs from Cambodian side Indicators of Outputs are achieved?	• Inputs list • Achievements of indicators of Outputs • Opinions of parties concerned	• Project documents, Project Progress Reports, other related documents • Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	• Outputs indicators of 2-2, 2-7, 2-9, 3-4, 3-5, 4-3, 5-2, 5-3 are not achieved.
		“Quality” of Outputs achieved are satisfactory levels? How much does the project attribute to the achievements of Outputs	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Evaluation Workshop • Interview	
	Project Purpose is realized as planned?	Indicators of Project Purpose are achieved?	• Opinions of parties concerned • Opinions of other donors	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Evaluation Workshop • Interview	
			• Achievements of indicators of Project Purpose • Opinions of parties concerned	• Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	• Indicator 3 of the Project Purpose (the number of smear (-) registered) is not achieved. (further investigation is necessary)
	Overall Goal is expected to be realized as planned?	Indicators of Overall Goals are expected to be realized?	• Achievements of indicators of Overall Goal • Opinions of parties concerned	• Documents of MOH, WHO, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	• Indicator 1, 2 and 3 of Overall Goal are not expected to be realized. (further investigation is necessary)

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Verification of the process	Activities were implemented as planned?	Were there any obstacles in the progress of activities? If any, what were the causes?	Progress of activities compared with the plan	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview	
	Technology transfer was adequately realized?	Were there any obstacles in the process of technology transfer? If any, what were the causes, and what are the solutions overcoming those obstacles?	- Progress of technology transfer, achievements of Cambodian project members - Opinions of parties concerned - Opinions of other donors	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	Project management was properly performed?	Monitoring of the project achievements and progress was implanted in the project management?	Ways of monitoring and frequency	- Monitoring System - Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
		Internal communication of the project has been smoothly realized?	- Communication channels and system - Problem solving - Opinions of parties concerned	- M/M of regular meetings - Monitoring System - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
		Communication and collaboration with JICA HQs and JICA Cambodia office was adequate?	Communication and collaboration	- M/M of regular meetings - Monitoring System - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview	
		Communication and collaboration with Cambodian organization concerned was adequate?	Communication and collaboration	- M/M of regular meetings - Monitoring System - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Verification of the process (contd.)	Cambodian government and parties concerned highly recognize the project?	MOH has a high ownership on the project?	- Budget for the project - Communication and collaboration - Opinions of parties concerned - Opinions of other donors	- Budgetary inputs from the MOH - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	Pertinent counterparts are assigned?	The number, capacity and status of counterparts are adequate to the project?	- Counter part list - Opinions of parties concerned	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	Cambodian organizations and parties concerned highly recognize and participate in the project?	MOH, CENAT and other related organizations and parties highly recognize and participate in the project?	Opinions of parties concerned	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	What were the hindering and promoting factors affected the progress of the project?	What were the hindering and promoting factors affected the progress of the project?	- Project progress records - Opinions of parties concerned	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	Communication and collaboration with other projects and programs were adequate?	Communication and collaboration with projects and programs related to the NTP were appropriate?	- Communication and collaboration - Project progress records - Opinions of parties concerned	- Project documents, Project Progress Reports, other related documents - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Relevance	Development effects targeted by the project are aligned with the Cambodian national policies?	What are targeted by the TB control strategies in the nation health policies and strategies?	- National health policies and strategies - Percentage of TB control budget in the overall national health budget - Japan's aid implementation policy for TB control in Cambodia?	- CMDGs - National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Budget Paper of MOH - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Literature Survey - Interview	The project shares the objectives and strategies with "National Health Policies and Strategies for TB Control 2006-2010."
	Development effects targeted by the project are aligned with the Japanese international cooperation policies?	What are targeted by the JICA's country-specific aid implementation policy for Cambodia?	Japan's aid implementation policy for TB control in Cambodia?	- JICA's country-specific aid implementation policy for Cambodia - JICA's policy and strategies on TB control, 4. 2007 - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview	High priority is placed on the TB control in JICA's country-specific aid implementation policy for Cambodia.
	Development effects targeted by the project meet the needs of the target group?	Necessity of TB control for Cambodian people is high?	- Incidence, prevalence, mortality rate of TB and other TB related data - Opinions of parties concerned	- National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview	Cambodia is still one of the TB 22 high burden countries.
	Approach adopted by the project is relevant for achieving the Project Purpose and the Overall Goal?	Approach such as DOTS and Beyond DOTS combination was relevant for achieving the Project Purpose and the Overall Goal?	Opinions of parties concerned	- National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. - Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	- Literature Survey - Interview	
	Japan has a predominant TB control technology and experiences?	Japan's TB control experiences are properly employed in the project?	Opinions of parties concerned	Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	Interview	
		Experiences of the Phase I are effectively employed in the project?	- Experiences in the Phase I - Opinions of parties concerned	- Final Evaluation Report of NTCP Phase I - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview	
		Cooperation and with other Japan's project such as loan, grant and technical cooperation projects?	- Cooperation and their results and effects - Opinions of parties concerned	- Staff of JICA - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	Interview	Grant assistance such as CENAT facility improvement in 1999 and TB drug procurement (2003-2005) prepared the foundation for the project.

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Effectiveness	Project Purpose is achieved by the attribution of the Outputs?	Indicators of Project Purpose are achieved?	• Achievements of indicators of Project Purpose • Opinions of parties concerned	• Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	• Indicator 3 of the Project Purpose (the number of smear (-) registered) is not achieved. (further investigation is necessary)
		Achievements of indicators of Project Purpose were realized by the achievements of Outputs?	• Achievements of indicators of Project Purpose • Achievements of indicators of Outputs • Opinions of parties concerned	• Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	
		Cause and effect relationships between Outputs and Project Purpose are logical and relevant?	• PDM • Opinions of parties concerned	• Achievement and Target for National Tuberculosis Control Project Phase II (2004-2009) • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	
	What are the factors hindered and/or promoted the achievement of the Project Purpose?	Personnel changes and/or job leaves affected the project activities?	• Separation rate, separation reasons, number of the counterparts • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
		Donor coordination and harmonization relating to the NTP is adequate?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		Important Assumptions and/or other external factors affected negatively of positively the project?	• Opinions of parties concerned	• Project Progress Reports • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Efficiency	Quality, quantity and timing of the Inputs were appropriate for achieving Outputs?	The number, fields, capacity, timing and duration of dispatch of Japanese experts were relevant and appropriate?	• List of experts • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
		The number, specifications, timing and quality of equipment granted were relevant and appropriate?	• Equipment list • Status of usage • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
		The number of participants, contents, duration and timing of trainings in Japan were relevant and appropriate?	• Participants list • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
		The number, capacity and assignment timing of the counterparts were relevant and appropriate?	• Counterparts list • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
		Buildings and facilities provided by the Cambodian side were relevant and appropriate?	• List of buildings and facilities provided • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Observation • Interview	
	Scale of the project cost is appropriate?	Project cost is appropriate compared with projects alike?	• Project cost • Opinions of parties concerned	• Project documents • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Literature Survey • Interview	
	What are the hindering and/or promoting factors affected efficiency of the project?	How the collaboration with other projects and programs and with other donors affected the efficiency of the project? What are the issues for further better collaboration with them?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		How the decentralization affected the efficiency of the project? What are the issues for further better collaboration with them? What countermeasures would be effective?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		Project management such as regular meeting and JCC contributed the efficiency of the project?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Interview • Evaluation Workshop	

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Impact	Overall Goal is expected to be realized as planned?	Indicators of Overall Goals are expected to be realized?	• Achievements of indicators of Overall Goal • Opinions of parties concerned	• Documents of MOH, WHO, etc. • Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Literature Survey • Interview • Evaluation Workshop	• Indicator 1, 2 and 3 of Overall Goal are not expected to be realized. (further investigation is necessary)
		What negative factors could be expected hindering the realization of the Overall Goal?	• Impact of HIV/AIDS in cure rate • Prevalence of HIV/AIDS infection • Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Interview • Evaluation Workshop	
	Achievements of Overall Goal were realized by the Project Purpose? Are there any other impacts and influences of the project?	Cause and effect relationships between Overall Goal and Project Purpose are logical and relevant?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	• Interview • Evaluation Workshop	
		How PPM-DOTS influenced the public and private sectors?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		How community DOTS influenced communities?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		How TB/HIV control activities influenced the national HIV/AIDS program?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		How the collaboration with NGOs influenced NGOs?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	
		Are there any other positive/negative impacts?	• Opinions of parties concerned	• Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc. • Staff of other donors and supporters such as WHO, US-CDC and NGOs	• Interview • Evaluation Workshop	• Evaluation

Evaluation Criteria	Evaluation Questions		Data Required	Data Sources	Data Collection Methods	Survey Results
	Primary Questions	Secondary Questions				
Sustainability	The government will support NTP to retain its activities, outputs and outcomes?	The national health policies will continue to support the NTP to retain its activities, outputs and outcomes?	- National health policies - Opinions of parties concerned	- National Health Policies and Strategies for TB Control 2006 - 2010 - Staff of MOH	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	CENAT is capable of continuing implementation of the NTP effectively and efficiently?	Management capacities of CENAT, laboratories and other organizations concerned are high enough to retain its activities, outputs and outcomes?	- Manpower supply - Management capacities of CENAT, laboratories and other organizations - Opinions of parties concerned	- Project Progress Reports - Assignment of the staff - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
		CENAT, laboratories and other organizations concerned are capable of preserving and disseminating the necessary technologies?	- Technical capacities of CENAT, laboratories and other organizations - Opinions of parties concerned	- Project Progress Reports - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
		Budget for the NTP including recurrent budget will be adequately prepared?	- Budget of MOH - Opinions of parties concerned	- Budget Paper of MOH - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
	Transferred technologies will be firmly rooted in the organizations?	Cambodian counterparts are capable enough to retain its activities, outputs and outcomes?	Opinions of parties concerned	- Project Progress Reports - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	
		Maintenance and operation of granted equipment will be properly carried out in future?	Opinions of parties concerned	- Project Progress Reports - Staff of MOH and ODs, Cambodian members of the project team, Japanese experts, etc.	- Literature Survey - Interview - Evaluation Workshop	

5. インタビュー記録

CENAT 所長

カンボジア結核対策プロジェクトフェーズ2 終了時評価 インタビュー記録

日時：2009年1月6日（火）10:00-11:00

場所：CENAT

面談者：Dr. Mao Tan Eang, Director of CENAT（CENAT 所長）

1. 上位目標について

- 1.1 上位目標の達成見込みが低いように見えるのには、ふたつ理由がある。ひとつは目標（指標）が確固とした根拠に基づかない過度に野心的（over ambitious）なものであること、ふたつ目は WHO のデータの信頼性（reliability）の問題。
- 1.2 上位目標の指標は WHO のコンサルテーションを受けて NTP で立てたもの。現在、2010 年から 2011 年の計画の見直しを行っており、これらの目標値も見直されることになる。
- 1.3 指標 2（prevalence）については、NTP の “National TB Prevalence Survey 2002” では 269/100K で、目標値 (270/100K) に達しているはず。 (“Global TB Control 2004, WHO”では 311/100K。)

2. プロジェクト目標について

指標 2（detection rate）の達成度は母数の人口が正しくない。カンボジア政府による “Population Survey 2008” では人口は 1340 万人で、それで計算すると、73%('05), 68%('6), 68.5%('07)となるはず。

Detection Rate は、人口比ではなく、絶対数で評価するのが望ましいと思う。絶対数で見ると、2005 年以降、安定期（Plateau）に達している。

指標 3（smear(-) registered）も確固とした根拠に基づかない過度に野心的（over ambitious）な目標値ものである。これは NTP の目標ではない。プロジェクトで立てたもの。実数で見れば、2005 年以降、確実に増えてきている。

指標 3（smear(-) registered）達成の制約になっていると思われる X 線施設数に関しては、X 線施設の予算が MOH の所掌であり NTP の管轄外であるため思うようにならない。HSSP 2 (2008-2015)に保健施設強化のための予算が盛り込まれることになっているので、それに期待している。NTP としては、放射線技師やテクニシャンの能力強化を図っている。WB、GF、JICA などの支援を受けてトレーニングを行なっている。フィルムの購入には JICA と GF の資金援助を受けている。

3. JICA の貢献について

JICA は、フェーズ 1 で DOTS を decentralize し、フェーズ 2 で全国展開してくれた。

そのなかで、すべてのレベルでのキャパシティビルディングを行なってくれた。キャパシティには、policy guideline, policy planning, policy M/E が含まれる。

guideline, planning, M/E などは、これらに関する活動を日本人専門家も含めたチームで行なっているので、それによって「質」は担保されていると考える。

M/E (supervision)は“Guidelines on Supervision for NTP 2003”があるので、それに従って行なっている。CENAT から PHD、PHD から OD、OD から HC というカスケード式の ME と平行して、CENAT が直接 OD や HC を直接指導に行くこともある。チームでいくので、ME の質も問題ないと考えている。

その他、JICA は顕微鏡、コンピューター、薬剤など、インフラを整えてくれた。他にも、TB/HIV、C-DOTS、ラボ、MDR など、すべての面でキャパシティビルディングを行なってくれた。

4. 今後の課題について

JICA の協力終了後の NTP の課題は資金。WB の 10 年に及ぶ支援が終了し、JICA のプロジェクトも終わり、そのうえ GF round 8 を獲得できなかったので、今後の資金難が懸念される。NTP としては、GF、USAID、JICA、WHO、US-CDC、TB-CAP、WFP、NGO 等の資金を探っていきたい。

NTP の今後のビジョンは“Interim Policy & Strategy 2009-2015”を現在作成中で、そこに今後のビジョンが盛り込まれる。MDG の達成に焦点が当てられることになる。

日時：2009年1月6日（火）11:00-12:00

場所：CENAT

面談者：Dr. Jim McLaughlin, Diplomat, American Board of Medical Microbiology, Microbiology Laboratory Advisor, National Laboratory of Public Health (US-CDC)

1. US-CDC について

1.1. US-CDC は GAP (Global AIDS Program) の推進に関わっていて、カンボジアでは GAP と NTP のリエゾン役を果たしている。また、北西 3 州 (Pursat, Battambang, Palin) で HIV/AIDS の予防と治療を行なっている。JICA とはラボの能力強化で協力している。

2. JICA の貢献について

- 2.1. JICA は EQA のシステム作りに素晴らしい貢献をした。6 ヶ月ごとから 3 ヶ月ごとの EQA に移行するために、組織作り、トレーニング、資金提供という貢献を行なった。
- 2.2. WHO の基準では人口 5 百万人当たり 1 件の TB 培養ラボを設置することが勧められているが、カンボジアでは JICA のおかげでその基準を満たす 3 件のラボが設置され、スタッフの能力強化も図られた。これは今後の展開のための基盤 (foundation) を作ったという意味で非常に重要な意味がある。
- 2.3. この基盤を元に、US-CDC では今後、Battambang と Kampong Cham (要確認) で液体培養を導入する計画がある。また、MSF も Kampong Chhang (要確認) で液体培養を検討している。これらは JICA によるラボの基盤作りがあって初めて計画できること。
- 2.4. MRD (Output 4-9) に関しても、JICA は訓練と資金提供を通して、カンボジア側の能力強化に大きな貢献を果たしている。
- 2.5. “National TB Lab Strategic Plan 2007-2010”は NTP を US-CDC と JICA が協力支援して策定した。
- 2.6. 他のドナーと比べて特に JICA が優れていると思われるのは 2 点。まず長期にわたるコミットメント。TB 対策はある程度の年数、腰をすえてかかる必要がある。JICA は 10 年という長期にわたり、長期・短期の専門家を多数派遣して大きな改善効果を挙げた。もうひとつの長所は開放的であること (openness)。多くのドナーは秘密主義的な傾向があるが、JICA は率直で協力的。

3. 今後の TB ラボの課題としては、人材養成と薬剤管理。人材養成は重要な課題であり、今後も現場でのトレーニングを続けていく必要がある。薬剤管理・調達は現在進行形の問題であるが、政治的レベルでしか解決できない問題と思われる。

日時：2009 年 1 月 6 日（火）14:00-14:30

場所：CENAT

面談者：Dr. Team Bak Khim, Vice Director of CENAT（CENAT 副所長）

1. 上位目標について

- 1.1 上位目標の達成見込みが低いように見えるのには、目標（指標）が過度に野心的（over ambitious）なものであるためで、実際の達成度は高いと考える。
- 1.2 GF が 2009 年度から 10%削減されるなど、予算の制約が大きく、これらの実績を維持していくには課題が多い。

2. プロジェクト目標について

指標 3（smear(-) registered）は目標が高すぎたのだと思う。

3. JICA プロジェクトについて

- 3.1 最も重要なのは C-DOTS。全国の HC を通じて DOTS を広めることが最重要。次に、それを支えるラボの機能強化が重要。そして、TB 対策へのアクセスを増やす意味での PPM や TB/HIV が必要であり、これらすべてを適切に運営管理するためのマネジメントと ACSM の強化が全体を支える。自分はこのなかの PPM の key person である。

4. PPM-DOTS について

22TB 高負担国のうち、PPM-DOTS を実施しているのは、カンボジアを含めた 5 ～ 6 ヶ国のみ。

NTP では、11 の PHD の 38 の OD で PPM-DOTS を実施している。OD 数で見ると 38/77、約半数の OD で PPM が実施されていることになる。

これら 11PHD の PPM を JICA、PATH（USAID）、URC（USAID）3 者の支援を受けて行なっている。JICA は 11PHD のうちの 1 PHD（プノンペン）の 4 OD を支援してくれている。

PPM-DOTS の内容は、まずドナーと戦略について協議し、それに基づいて民間病院等を対象としたアドボカシーを行ない、協力に合意する機関と MOU を結び、訓練を行ない、実施（患者のリファー）を開始するという流れ。

実施は、関係機関と月例会議および 4 半期会議をもってモニターしている。これまでの実績では、協力機関（民間病院）のうちの約 60%が TB 患者をリファーしている。

PPM-DOTS ガイドライン（Output 2-7）は最終ドラフトが完成し承認待ちの状態。

2009 年 3 月には承認がおりる予定。

5. JICA の貢献

JICA はブノンペンの 4 OD を対象に、4 半期会議の経費負担や IEC 活動の資機材作成などを支援してくれている。

JICA の支援の長所は、確実に定期的に資金提供をしてくれるところ。他のドナーはそうでないところが多い。

6. PPM の今後の課題

支援をしている 3 者のうち、JICA と URC が 2009 年で支援を終了するので、残るのは PATH (USAID) のみになり、今後、財政的継続性が最大の課題になる。

GF か PATH に財政的支援を依頼することになるが、両方という選択肢がなく、タイミングが悪いと、1 年間どちらの支援も受けられなくなる可能性がある。

日時：2009 年 1 月 6 日（火）14:30-15:00

場所：CENAT

面談者：Dr. Tieng Sivanna, Vice Chief of Technical Bureau, CENAT（CENAT 副局長）

1. 目標達成度について

- 1.1 上位目標およびプロジェクト目標 3 の達成度が低いのは、ともに目標が高すぎたのだと考える。

2. Output 1（Management capacity）について

自分は JICA プロジェクトのなかの Output 1（Management capacity）を主に担当している。

計画（1-1）、統計（1-2）、データベース（1-3）の質に関しては、どれも日本人専門家を含めたチームで行なっているので、それによって質は担保されていると考える。特に質を取り上げて評価するようなことはしていない。

3. スーパービジョンについて

スーパービジョンは“Guidelines on Supervision for NTP 2003”に従って行なっている。CENAT から PHD、PHD から OD、OD から HC というカスケード式のスーパービジョンと、4 半期ごとの M&E ワークショップの 2 本立てで行なっている。

カスケード式のスーパービジョンは、CENAT から PHD が 4 半期ごとに 20 名くらいのスーパーバイザーチームで、PHD から OD が最低 2 ヶ月ごとに 2 程度のチームで、OD から HC は毎月 1 名のスーパーバイザーで、という形で行なっている。

4 半期ごとの M&E ワークショップは PHD と OD を対象に、両者から TB スーパーバイザーが参加している。

このワークショップにはふたつの目的がある。ひとつは活動の進捗報告。もうひとつはこの場を利用した TB スーパーバイザーに対する教育訓練。

どれもチームで行なっているので、スーパービジョンの適切さ（質）には問題ないと考える。

スーパーバイザーの助言が適切だったか、助言が実行されているかどうかは、次回のスーパービジョンの時に確認することになっている。

TB 対策総予算が \$30 万で、そのうちスーパービジョンの予算が \$6 万～\$7 万程度。

4. JICA の貢献

JICA の貢献で大きいのは、日本人専門家の技術的サポート（technical support）と資金援助。

日時：2009 年 1 月 6 日（火）15:30-16:00

場所：CENAT

面談者：Dr. Khun Kim Eam, Chief of Statistics, Planning & IEC Sect., CENAT (CENAT 課長)

1. TB/HIV の経緯と現状

- 1.1 自分は本プロジェクトでは主に TB/HIV を担当している。
- 1.2 NTP の TB/HIV は、2003 年にフレームワークができ、2004 年から 4 州でパイロットを開始した。4 州は、JICA (Phnom Penh)、FHI (USAID)、US-CDC、WHO (Sihanoukville)。その後拡大され、2008 年には 67OD/77OD と、かなり広範に広まった。成功していると言える。
- 1.3 活動内容としては、関係者の教育訓練を行なって、双方紹介の実施を行なう。
- 1.4 モニタリングは TWG 会議（不定期）を行なっている。これには NTP、NGO、ドナーなどの関係者が参加している。

2. TB/HIV の成功要因

成功要因は 3 つ。①TWG が WHO のフレームワークを基にした明確な TB/HIV フレームワークを作ったこと、②TB、HIV 双方の関係者のコミットメントが高かったこと、③TWG による関係者・関係機関の調整が適切に行なわれていること、などがあげられる。

3. TB/HIV の今後の課題

移動手段 (transportation) の問題 (資金不足等) で、TB suspects が VCT (Voluntary Counseling Testing) に来られないこと。HC から RH までの足の問題。

TB 側と HIV/AIDS 側で、まだ役割分担と紹介手順が徹底されていないところがある。より明確なフレームワークとその周知徹底が必要。

情報の共有化を強化する必要がある。National TB/HIV Workshop を毎年開催している (資金は GF R7) が、まだ情報共有が不足している。

HIV テストの不足。

4. JICA 協力終了後の課題

技術的サポート。たとえば research protocol の改善など。
資金援助。

日時：2009年1月7日（水）10:00-11:00

場所：CENAT

面談者：Dr. Mom Ky, Assistant Executive Director, CATA (Cambodian Anti-Tuberculosis Association)

1. CATA について

1.1 CATA は現在、民間工場での PPM と高齢者の TB 対策を中心に活動している。

1.2 JICA プロジェクトとは民間工場での PPM で協力している。

2. PPM について

2.1 本プロジェクトでは、プノンペンの主に縫製工場を中心に、NTP、労働省、工場内クリニックの3者が連携した PPPM (Public-Public-Private Mix) の TB 対策を展開している。

2.2 2007 年に6工場をパイロットとして活動を開始し、2008 年には16 工場にまで広まった。

2.3 カンボジアでは法律により、民間工場には必ず工場内クリニックを設置し、医師および／あるいは看護師を常駐させることになっている。（法の対象となる工場の規模は確認できなかったが、プロジェクトで対象となっている工場はすべて被雇用者数200人以上。）

2.4 プロジェクトでは、これらの工場の経営者と協議を行ない、TB 対策の重要性を認識してもらい、経営者が TB 対策実施に合意した工場を対象に、工場内クリニックのスタッフの訓練、従業員を対象とした TB 対策キャンペーンなどを行ない、結核の疑いのある従業員をリファールし、結核患者には DOTS を実施する、という仕組みになっている。

2.5 従業員に対する TB 対策キャンペーンは、昼休みの時間を利用して行なう。その際は昼食を提供する。他にテレビ放送を利用したキャンペーンも JICA の経費負担で実施している。

2.6 工場内クリニックスタッフの訓練は、2 日間の訓練と2 回のリフレッシュ訓練からなる。2 日間の訓練は年に2 回、2 回のリフレッシュ訓練は年に1 度実施している。

2.7 訓練の他に、モニタリング目的でフォローアップ・ミーティングも実施している。

2.8 プロジェクトでの分担は、主に訓練を CENAT が（経費負担はなし）、キャンペーンを JICA が（経費負担あり）行なっている。

2.9 初年度の2007 年は40 ケースがスクリーニング対象となり、内5 名の smear (+)と1 名の EPTB 患者が発見された。2008 年は149 ケースがスクリーニング対象となり、内7 名の smear (+)、6 名の smear (-)、6 名の EPTB 患者が発見された。これらの数

字から見て、この事業は成功していると言ってよいと考える。

- 2.10 本プロジェクトの貢献は2点。①民間工場を対象とした、民間企業の経営者が関心を持つモデルを PPPM のモデルを開発し、それが有効であることを証明した。②上記の通り、実際に発見率を向上させている。

3. JICA 協力終了後の課題

- 3.1 予算不足が課題。PPM のための資金はこれまで JICA、JATA、オーストラリアから受けている。オーストラリアの資金援助はスクリーニングのための移動 (transportation) にかかる経費が対象であり、それ以外のキャンペーン、訓練、フォローアップミーティング等に係る経費は JICA と JATA から得ている。JICA からの資金援助が終了すると、今後の一層の拡大は難しくなり、現状維持を目標とすることになる。

4. PPM の今後の展望

- 4.1 予算が得られれば拡大。得られなければ現状維持。
4.2 工場内 DOTS がまだ不徹底なので、さらに徹底したい。
4.3 経営者の工場内 TB 対策に対する関心をさらに高めたい。

日時：2009年1月7日（水）14:00-15:00、1月9日（金）14:00-15:30

場所：CENAT

面談者：杉山達郎専門家、山本記代美専門家

1. プロジェクト計画について

- 1.1 プロジェクト計画はほぼ NTP の TB 対策と軌を一にしているが、上位目標の指標値 NTP の目標値でない。達成目標年度が 2012 年というのも、MDG にも符合していません。途中で中途半端。
- 1.2 プロジェクト目標達成にとって重要でないアウトプットは特に見当たらない。アウトプットに結びつかない活動というのは多少はあるが、大きな問題ではない。（たとえば、PHD および OD の TB 関係者を対象とした performance based support や smear 配送料の負担など、GF がなかったフェーズ 1 の頃の名残があったが、それらもすべて GF その他に委譲して、現在は行っていない。）

2. 上位目標について

- 2.1 指標の目標値に根拠が見られず、野心的に過ぎると思われる。
- 2.2 児童の BCG 接種率が 90%を超えるなど、条件は整ってきているので、prevalence は確実に下がってきているはず。今後は、TB 対策立案のためにも、適切な prevalence survey の実施が重要。

3. Output について

Output 1-1（計画立案）に関しては、何をいつやるといった年間計画は作られているが、それを実行するための実行計画が作られていない。

また、年間計画も、大雑把に何をいつやるといったことしか書かれていなかったり、昨年のを焼きなおしただけのものなども散見される。

計画を実施した結果のフィードバックや評価も行なわれていない。

計画策定の手順やフォーマットは標準化されており、フォーマットはドナーとも共有されているが、手順やフォーマットの改善が必要と思われる。

Output 1-8（調査、分析）に関しては、分析力がまだ足りない。

スーパービジョン強化が注目されているが、スーパービジョン強化は PDM 上では、Output にも明示されていないし、活動にも直接それに相当するものも見当たらず、スーパービジョン強化に特化した活動は行っていない。本プロジェクト全体の活動を通してスーパービジョン能力が向上することが期待されていたと考える。

スーパービジョン能力向上の証左をあげるのは難しいが、GF R7 が承認され disburse されているということは、マネジメント能力が向上しているから GF にアピールできたと言えるのではないかと。R2、R5 は MOH が principal recipient だったが、R7 から

は CENAT が principal recipient になっている。

Output 2-9 (C-DOTS) は目標値 (665 以上の HC での実施) を達成していない (2008 年時点で 525HC) が、これは中間評価時点で当初の目標値が達成されたので目標値をあげたもの。過度に野心的な目標値であると考ええる。

Output 4-3 (ラボの試薬・物品不足) に関しては、2006 年、2007 年に CMS で消耗品不足が起こっているが、MOF の予算配分が十分でないことも一因で、CENAT の責任範囲外と考える。

今後の再発防止策としては、CENAT は GF 予算で試薬を購入する方針でいる。プロジェクトでは、ラボに試薬を自作できるだけの能力をつける方向で訓練を行なってきて、現在すでに試薬を自作している。

Output 5-2 (IEC/Advocacy) は、ACSM 戦略のドラフトが完成し、承認待ちの状態。実施までの具体的なステップは未定。

Output 5-2 (村落組織による支援) は、53%の HC が支援を受けていて、目標値 (70%) に達していないが、80%以上の HC がトレーニングを受講済みで、今後、数値が上がっていくと思われる。

4. 特筆すべき成果

TB/HIV (Output 3-1、3-2)

- (1) TB/HIV には 3 つのモデルが考えられる。①VCT に患者を搬送する。②Mobile VCT によりこちらから患者に接近する。③血液サンプルのみを HC から VCT に搬送する。
- (2) 本プロジェクトでは、プノンペン州内の 4 OD で、このうちの transitional period に相当する②を実施し、患者紹介の向上に大きく貢献した。
- (3) 現在はモデル③に移行し、GF を使って他団体が実施している。

C-DOTS (Output 2-3)

- (1) C-DOTS に関して、各 OD 毎の HC スタッフ会議と、各 HC 毎の H ボランティア会議が行なわれているが、プロジェクトで HC スタッフに TOT を行ない、HC スタッフが H ボランティア会議でボランティアの教育訓練を行なうという工夫をした。会議の場を教育訓練の場として利用したということ。
- (2) ここでの教育訓練のテーマは C-DOTS, TB/HIV, ACSM, 小児 TB など、この工夫で、Output 2-3(C-DOTS)、3-2(TB/HIV)、3-4(小児 TB)、5-2、5-3(ACSM)を連携させた効率的な活動が行なわれた。

EQA (Output 4-6～4-9)

- (1) EQA は当初、年 2 回だったものを年 4 回に増やした。これによってフィードバックがタイムリーに行なわれるようになった。
- (2) また、実施州も 4 PHD から 7 PHD に増えている。今後は GF、USAID、TBCAP

などの資金を使って 16PHD に展開する予定。

- (3) これは年 4 回のモデルとその実施のためのトレーニングをプロジェクトで開発したものである。
- (4) トレーニングは CENAT 側だけで実施できるレベルに達しており、GF、USAID の資金を使って CENAT によって拡大されつつある。

PPM (Output 2-7、2-8)

- (1) 民間工場を対象にした PPPM は CATA のインタビューで聞いたとおり。
- (2) 工場内 HC スタッフに対する教育訓練は CENAT だけでできるようになり、Public-Public-Private 間のコーディネーションは CATA ができるようになったので、本プロジェクト終了後も拡大の道筋はついたと考える。
- (3) 本件には企業経営者の理解が必須であり、そのためには労働省産業保健課のアプローチが非常に重要。本プロジェクトで労働省との連携の仕組みができたことは特筆に価する。

5. 阻害要因

CENAT 側の情報開示が十分でなかった。CENAT と JICA のコーディネーションの促進を目的に月例会議を行なっていたが、特にプロジェクト開始当初の頃は CENAT 側からの情報開示が不足した。

徐々に改善され、最近ではトレーニングやワークショップの予定などは知らされるようになった。しかし、スーパービジョンの予定はいまだに知らされないため、スーパービジョンに同行してその改善を図るということができなかった。

日時：2009 年 1 月 9 日（水）15:00-15:30

場所：CENAT

面談者：Dr. Phen Sok Heng, Chief of National Tuberculosis Reference Laboratory
CENAT

1. 本邦研修について

1.1 実施時期：2008 年 9 月 23 日～11 月 29 日

1.2 実施場所：RIT

1.3 研修テーマ：TB ラボ（smear の assessment, reading, culture (solid, liquid), DST など）

1.4 研修員：7 名（アジア及び中東）

2. 研修の良かった点

知識と技術が身に付いた。

そのことを通して、ラボのマネジメントについて学べた。

実習で使用する器具が CENAT のものとは多少異なったが、問題になるほどではなかった。

帰国後、部下や同僚に知識と技術を紹介するとともに、ラボのマネジメントを改善することができた。適用度の高い有益な研修だったといえる。

3. 研修の改善点

講義や実習で多少、重複するところがあった。

培養と DST に関して、一貫した研修教材がなく、いろいろな資料を集めて使った。

まとまった教材があると、帰国後の適用がより容易になる。

一部、研修経験の少ない新しい講師がいた。

